

夕刊 常磐毎日

発行所 平市田町75番地
電話 1210
印刷 吉田 甫
編集 吉田 甫
発行 吉田 甫

婦人科
産科
齋藤医院
入室完備
平市サカサキ二

吹きまよくる保全経済旋風 バタバタと閉鎖する中小金融社

遂に国会で政治問題化した「保全経済会旋風」は、一日の行政監察委員会に於ける平野力三氏(保全経済会顧問)の証言により、政界に大きな波紋を投げかけられているが、平野証言の真実性も、今後の検討にまかされはならない。一部には社会党の保守陣営に対する政治謀略とも云うべき「なれぬ証言」だとも言われ、日を追うて複雑化して来るようだが、これらの大問題は別として、実際に保全経済会に金を投資して使われてしまった農民やサラリーマンの打撃は大きく全面的に及び、平市を中心とした常磐地区もその旋風に巻き込まれた災害地として及ぼした影響は甚大である。その後面に現れた地方の金融界の動きをみてみよう……

郡下に「百社余り」 投資金総額は二億余圓

法の盲点をくみに利用し高利配当の「エサ」をばらまいて農民や商人、そしてサラリーマンから金を集めていた「毒のアレ金融機関」は戦後後援のタケノコのように伸び、郡下で百社余りを数え投資金総額二億圓とされている。旧「保全経済会」の休業旋風のあふりを受けて、その後バタバタと閉鎖の波目も、正月に入つて過半数の「保全経済会」一掃手れ「毒」をばらまいて深刻化しつつある。

全くお先真暗の 保全経済会平出張所

まず平野部の「アレ金融機関」が事務所を当てられ、休業宣言の日まで約千五百萬圓の投資金を集めたと言われている。だがこの組合は地盤が少なかつたせいか予想されていたほどの被害はなかつたと言われている。

投資者の大半は サラリーマン農民が多い

千代田経済と並んで投資金を管内から相当額集めたのは白銀町三郵便、南町郵便、千代田三郵便などがあるが現在投資金払もとの停止の声は聞かれぬ。また昨年暮から休業状態に入つた新川町の三井信託、大東殖産は従業員を二十名近くも雇つていながら投資金はおのおの三百萬から五百萬圓の少額であった。

一番多いのは農民、サラリーマンの三万円から二万円クラスである。中には娘の嫁入り資金十萬圓を預入れ二ヶ月の利息をもらったとまでコケついてしまったと言ふ悲劇もあり、凶作に加ふるに石炭の不振から日給に深刻化する不況の嵐に、その成行は大きな関心事となつている(写真は三井信託支店)

千代田経済 営業所長談

千代田経済平出張所所長談「昨年の十二月二十日から会社命令で支払を停止しました。しかし特別な事情のあるには本社から許諾を受けて支払は二百万圓以上になるでしょう」と同署では語つている。



千代田経済平出張所ビル

経営になると思つて、投資家も会社が倒れると困るので支払をやめてくれと言つて来ます。から当分は出資金の支払はしないでしよう、保全経済会旋風は各金融機関をつきつきと倒して行くので今後の見通しはサツパリ判りません。

ズボンとジャンパー

大特売

一堀出物豊富取揃
◎是非一度来店の上御覧下さい◎

藤越洋服部

Sun SHINE SANTOKU

サリヤイ

オーバー セビロ 三平 赤かや

発見人に薄謝進呈

秋田一頭牝生後約二ヶ月
特徴(マ)薄茶(色)口尾は濃黒色
一、行方不明年月日三月三日前九時頃
(平市松町二番地自前前にて)

野崎 文彦
連絡先 電三四〇番

吉例のお年玉

舊正三日初売

味噌醬油

塩屋

子タタシ

お供の御用意に
大型 中型 小型
各種お待致します

電話 六四〇番

舊年末福引付大売出し年始

1月30日ヨリ	2月7日マデ
100円御買上毎に	抽せん券進呈
特賞	三万円
1等ヨリ5等まで	空クジなし

◎同品なら必ず安い◎

旧正月234三日間は特に二重景品付

余 佐川呉服店

平市5町目 電1,486番

旧年末福引付大売出し

特賞品	一等手拭 二五〇円
特賞品	純綿夜具 三〇〇円
特賞品	伊予絨 六〇〇円
特賞品	純綿敷地 二五〇円
特賞品	純綿敷地 二五〇円

◎格安奉仕の品の山積◎

山音呉服店

